

馬頭最終処分場に関する 町民と知事との意見交換会の 主な質疑事項

～みなさまの質問に知事が答えました～



4月27日に開催された町民と知事との意見交換会

要望 日本一安全性の高い処分場に！
最終処分場のハード面（施設・設備）だけでなく、ソフト面（管理・運営）についても日本一安全性の高い処分場にしてもらいたい。

現在考えられる技術の粋を導入して、最も安全な処分場をつくっていくことが大切と考えます。ソフト面では地域のみなさまとの情報の共有が当然必要であり、住民監視システムを導入する他、大気・水質などの環境監視結果の情報公開などを積極的に推進します。

要望 風評被害への万全の対策を！
風評被害に対して万全の対策を講じてもらいたい。

多重安全システムを構築することによって、風評被害や観光産業、周辺環境への影響を未然に防ぐことができると考えています。万々がー、何らかの事故が発生した場合には、県が責任を持って将来にわたって補償していきたいと考えています。

質問 処分場に対する理解を深めるには？
最終処分場に対する理解を深めるため、今後、住民との合意形成をどのように図っていくのか。

町民のみなさまとの意見交換の場を設け、密に話し合うことが合意形成に一番必要なことだと考えています。今後、地域（自治会・集落）ごとに細かく集会を開いて、地元のみなさまに最終処分場整備への理解を深めていただけるよう努力してまいります。

平成17年度 先進地視察の お知らせ



県と町では、今年度も処分場の視察を実施します。
参加を希望される方は、**お問い合わせ先**までご連絡下さい。

- 視 察 先：埼玉県環境整備センター
エコフロンティアかさま
- 参加対象：那珂川町内に住所を有する団体、グループ
※個人は、別途募集します。

馬頭最終処分場に関するホームページの開設について

県では、馬頭最終処分場に関するホームページを開設しました。
下記のホームページアドレスで、ご覧いただけます。

(栃木県ホームページ)
<http://www.pref.tochigi.jp/>

【→暮らし・環境→環境：リサイクル・廃棄物→廃棄物：馬頭最終処分場（環境整備課）】

お問い合わせ先

- 栃木県 生活環境部 環境局 環境整備課 TEL.028-623-3227
- 那珂川町 環境整備対策室 TEL.0287-92-1110

発行

- 栃木県 生活環境部 環境局 環境整備課 〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20 TEL.028-623-3227
- 財団法人 栃木県環境保全公社 〒320-0043 宇都宮市桜2-2-28 TEL.028-622-7654

(平成17年10月発行)

新 那珂川町の 誕生に寄せて

那珂川町のみなさまに 馬頭最終処分場計画のあらましを お知らせします。

廃棄物は、家庭のほかにも、工場や住宅解体現場など私たちの暮らしの身近なところから発生しており、発生する場所や種類により「一般廃棄物」と「産業廃棄物」に分けられます。「一般廃棄物」は、主に日常生活に伴って生じた可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみなどをいいます。「産業廃棄物」は、事業活動の中から発生する廃棄物をいい、工事現場や工場などのほかに、食品や電気製品を購入したり、家を建て替えたりといった日常生活の中からも発生しています。このように、「一般廃棄物」も「産業廃棄物」もどちらも私たちの暮らしと深くつながっており、将来の環境を守るために適正に処理する必要があります。



那珂川町のみなさまへ

全国のモデルとなる「**多重安全システムを備えた安全で安心できる最終処分場**」を目指しています。

不法投棄問題解決に向けての 経緯

平成2年、馬頭町北沢地区で不法に投棄された大量の廃棄物が見つかりました。これらの廃棄物の主なものは、建設廃材や廃プラスチック類、紙くずなどで、現在も残されたままになっています。

地元ではこれまで、この廃棄物が周辺環境へどのような影響を及ぼすのか、また悪影響を防ぐためにはどうすれば良いのかなどのさまざまな議論が行われてきました。

そして平成12年、馬頭町から県営の最終処分場を建設して、この北沢地区の不法投棄の問題を解決して欲しいと、県に対して要請がありました。

そこで、県では、地元から候補地としてあげられた備中沢地区について、平成14年から15年にかけて「適地性を判断するための環境アセスメント（環境影響評価）」を行いました。

この環境アセスメントは、事業を実施するかどうか決定する前に、この場所に環境に配慮した最終処分場をつくるのが可能かどうかを判断するための調査・予測・評価を行うものです。

候補地とその周辺について、地形・地質や動植物などの自然環境、大気・水質・騒音などの生活環境、景観などについて詳しく調査を行いました。

この予測・評価の結果、候補地は「将来にわたって安全で環境保全に配慮した最終処分場の設置可能な場所である」と判断しました。

さらに、平成16年、馬頭町から改めて県営の管理型最終処分場の設置の要望がありました。県では、馬頭町からの要望を重く受け止め、最終処分場の建設を決定しました。

平成17年3月、多重安全システムを備えた安全で安心できる最終処分場の具体的な姿を明らかにするため、「馬頭最終処分場基本計画」を策定しました。また、この計画の中には、馬頭町北沢地区の不法投棄物を安全に取り除くための撤去方法や、撤去中に周辺環境への影響をできるだけ少なくするための対策などを示した「不法投棄物撤去計画」も盛り込みました。こうして、馬頭町の不法投棄問題の解決に向けて歩み出しました。

▶ 馬頭最終処分場の

基本方針

馬頭最終処分場は、次の4つの基本的な考え方を基に計画をすすめています。

信頼性の高い施設

幾重にも安全対策を組み入れた施設にします。

信頼性の高い管理運営

周辺環境に影響を及ぼさないような廃棄物の搬入や埋立方法、施設の管理、運営方法を採用します。

地域との情報の共有

住民監視システムなどを導入し、積極的に情報を公開する地域に開かれた処分場とします。

自然との調和を基調とした施設

八溝県立自然公園や備中沢地区の自然環境を生かし、自然との調和を図れるような施設づくりを目指します。

▶ 馬頭最終処分場の

多重安全システム

「**多重安全システム**」とは、一つの安全機能がなんらかのトラブルにより機能しなくなっても、第二・第三の安全機能が働き、安全性を維持するシステムを言います。

県では、**施設や設備の面**（ハード面）はもちろんのこと、**管理運営面**（ソフト面）でも幾重にもわたる安全対策を行っていきます。

遮水システム

廃棄物にふれた水（浸出水）が地下水や川などに流れ出さないようにするため、馬頭最終処分場では、国の構造基準を上回る、幾重にもわたるバックアップ機能を備えた多層の遮水構造を採用しています。

浸出水処理システム

廃棄物に触れた水を浄化し、きれいな水にしてから川に放流するためのシステムです。馬頭最終処分場では、一般的な水処理システムに加えて、より高度な処理を行い、飲料水と同じレベルの水質まで浄化して放流します。

多重安全システム （馬頭モデル） 概念図



住民監視システム

住民監視システムは、処分場が適正に運営されているかどうかを、住民の皆さんが参加して監視するためのシステムです。



▲特徴:①住民による監視



▲特徴:②コミュニケーションの場の設置

▲特徴:③大気・水質などの環境監視結果、処分場の映像などの情報公開

